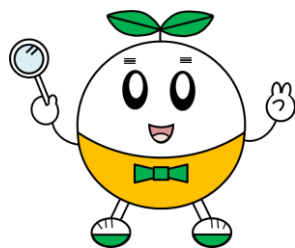


2017年度 ライブラリーサポーター 始動！

ライブラリー・タイムズ

二〇一七年五月 ライサポ新聞班編集

Vol.2



☆ライサポ☆

法政大学のみなさん、こんにちは！「ラ

イブラリー・タイムズ」をお手に取っていただ

き、ありがとうございます。私たちはライ

ブラリーサポーター（通称・ライサポ）です。学生と図書館を繋ぎ、魅力的な図書館を作るための活動をしています。

昨年度は、図書により親しんでもらうための「ポップ・しおり作り」や、図書館に所蔵する本を学生目線で選ぶ「選書ツアー」、より利用しやすい図書館を目指す「図書館の改善アンケート」の実施、そして、図書館のサービ

スについて図書館職員の方と意見交換をする「懇談会」などを実施しました。（※ポップ：文章やイラストを使って本の紹介をするもの。）

このライブラリー・タイムズでは、ライサポおすすめの本や、図書館の紹介及び新企画などを掲載していく予定です。本紙を始めとするこれからのライサポの活動が、図書館や

本についての新たな気づきのきっかけとなり、みなさんがより良い図書館ライフを送れるよう願っています。（経済学部経済学科3年 N・I）

①『僕の小規模な奇跡』 人間 人間（著）

「君に一目惚れをした。俺と付き合ってくれ」。大学一年生の主人公は、一目惚れをした少女にこのセリフを言ったあと、気味悪がられながらも、「好きじゃないけど付き合っ

てあげてもいい」という、謎の承諾を頂く。その理由は、彼が守りとして持っている錆びたナイフであった。彼女があるものから守るという理由で、奇妙な付き合いが始まる。

ライサポおすすめ本

②『一九八四年』 ジョージ・オーウェル（著）

1984年、ロンドンには「ビッグ・ブラザー」が率いる党が支配していた。この物語の主人公、ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党員で、歴史の改ざんを仕事としていた。しかし、あることをきっかけに、党の体制に不満を抱き始める。

『一九八四年』はデイスピア小説の金字塔である。全体主義の根本にあるものを、「二重思考」や「ニュースピーク（英語の新しい語法）」という概念を提示して表している。ウィンストン・スミスを通して、すべての情報が管理された1984年の世界の真相に迫って欲しい。（社会学部社会学科2年 Y・Y）

③『南米日系移民の軌跡』 吉田 忠雄（著）

明治時代、日本政府は人口の急激な増加に頭を悩ませていた。一方、農村部では没落農民が再起の機会をうかがっていた。ここにおいて、移民送出に至るまでの両者の思惑は一致したのである。こうして、多くの農民たちは豊かになって帰ってくるという希望を抱いてアメリカ大陸へと渡っていた。しかし、彼らには多くの困難が待ち構えていた……。

移民は常に送出国とホスト国との間の関係の中で揺れ動く。このことは現在においても変わらない。本書は移民たちが日本を飛び出した背景、生活をありありと描き、彼らの息遣いまでもが聞こえてくる。現在、日本を含めて世界の至る所で移民についての議論が噴出している。その議論について、考える際に本書があたえてくれるアナロジーはきっと役にたつだろう。移民について考えたいあなたには必読の一冊。（社会学部社会学科3年 Z・H）

（現代福祉学部臨床心理学科2年 N・H）

④『ハーモニー』 伊藤 計劃（著）

2019年の「大災害」と呼ばれる地球規模の荒廃を経験した近未来の世界が舞台となる。そこでは、各人の身体に埋め込まれたソフトウェアによって、病気の発生も、また自由な行動や感情さえも管理・抑制されるようになった。

人間のすべてを管理しようとする社会の中にヒトの意志は存在するのか、管理された生活のなかに幸福はあるのか。SF小説というジャンルを越えて、現代に生きる私たちに未来への問いを投げかけているような一冊。（社会学部メディア社会学科1年 K・K）

☆多摩図書館にある作品を一部紹介します！☆

【芥川賞受賞作品】

『壁』安部公房（著）
『道化師の蝶』円城塔（著）
『スクラップ・アンド・ビルド』羽田圭介（著）

【直木賞受賞作品】

『ナポレオン狂』阿刀田高（著）
『火垂るの墓』野坂昭如（著）
『容疑者Xの献身』東野圭吾（著）

豆・知・識

1粒目 「芥川賞&直木賞」

毎年、上半期と下半期の2回にわたり審査が行なわれる芥川賞と直木賞。「すごい賞なんだらうけどよくわからない」「そもそもなんで芥川賞、直木賞っていうの？人の名前？」という人もいるのではないのでしょうか？

友人の芥川龍之介と直木三十五の生前の功績を称えて設立した文学賞のことです。芥川龍之介といえば、小説『羅生門』で有名な作家です。国語の教科書などで目にすることがあるかと思いますが、彼は主に短編小説を中心に活動していました。直木三十五は主に時代小説作家として有名な人で、ペンネームの「三十

五」は、考案した当時の自身の年齢を表していたそうです。どちらの賞も、受賞すると、賞金100万円と懐中時計が授与されます。また、芥川賞では主に新人・無名作家が、直木賞では主にベテラン作家が対象となるそうです。どちらの受賞作品も名作揃いなので、ぜひ読んでみて下さい！

新入生歓迎企画

参加対象：多摩キャンパス所属学生（学部生・院生）

しおりを集めて 新生活グッズを GETしよう！

貸出時に渡される「しおり」を集めると、新生活に役立つグッズがもらえます。

※返却期限が2017年5月1日以降のしおりに限ります。

好評につき延長！

6月30日まで

グッズ内容 ※しおり枚数に応じての交換となります。

しおり3枚：カワイイ!!! えこびよんクリアファイル

しおり5枚：手帳にも使える！マスキングテープ

しおり7枚：本好き歓喜！ブックカバー

グッズ交換場所
多摩図書館
2階カウンター



※グッズはなくなり次第終了となります。